

みんなで考え、みんなでつくる。ふるさと「今治」のまちづくり

今治市議会議員

達川雄一郎

議会だより

発行者 今治市議会議員 達川雄一郎

住所 〒794-0065 今治市別名380-3

・fax : 0898-22-4444

討議資料



ホームページ



夢・まち・未来 VOL.16



夢をかたちに！
みんなでつくる
ふるさと今治のまちづくり！！

みなさんこんにちは、^{たつかわゆういちろう}達川雄一郎です。日頃から達川雄一郎の活動に対し、力強いご声援をいただきありがとうございます。私は3期10年の活動の中で、「子どもが育たない社会に未来はない」という考え方の元、生活に身近な政治、未来を担う子ども達が笑顔で暮らせる今治を実現するためにはどうすればいいのかを念頭に置いてまちづくりに取り組んでまいりました。

妊娠出産期、幼児保教育、学校活動等、子ども達の発達段階に応じた支援の充実に加え、今を支えている、子育て世代、現役世代が元気な社会をつくるのが、将来に繋がる持続した地域創りであり、子ども達だけでなく、高齢者も元気にすることができる唯一の方法であると考えます。これからも、すべての世代が互いに交流し、様々な場面で活躍できる環境を整えることで、誰もが住みやすい今治をかたちにしていきます。

まだまだ力不足の若輩ですが、お力をお貸しください。ともに新しい今治市をつくっていきましょう。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

今治市議会議員 達川雄一郎



👉 みなさんにお約束する3つのちから



四国若手議員の会総会にて中平宿毛市長と一緒に(高知県宿毛市)

🌸 みんなで育てる (子どもを育てる)

子どもたち、子育て世代のさらなる支援
子どもたちの心の变化に寄り添う体制の整備
安心・安全な保育・教育環境の構築



🌸 みんなでつくる (共生のまちづくり)

市民がまちづくりに参加できる環境の実現
市民が恩恵を受けることができる条例・制度づくり
市全体、地域別の実情に相応した政策の推進



🌸 みんなで考える (情報の共有化)

みなさんと直接対話し市民の声を具現化する定例会の開催
選挙前後に終始しない日々の活動の報告
すべての世代が交流し活躍できる社会の実現



3期目4年間の一般質問総括！



まちづくりは人づくり！！
私たちの住むまちのこと
一緒に考えませんか？

みなさんにお約束したことを実現するために・・・
みんなで育てる・みんなで考える・みんなで作る活動をこれからも推進します！

Vol14掲載分

財政問題について 合併により優遇されていた交付税が今後削減される見込みであり、地方自治法2条にある最小の経費で最大の効果を得るためにはどうすべきか、現状と見通しについて質問しました。

人事考課制度について 市役所の職員が適材適所に配置されなければ公共の福祉向上はありえません。また不合理な人事が行われないう現状をただしました。

市役所公共施設におけるトイレの設置改修状況について 最近では高速SAや飲食店、ショッピングモール等でもトイレの改修が行われています。公共施設の中でもトイレは市民のみならず、他市から訪れていただいた方々が必ず使う場所のひとつです。トイレが清潔快適であることは、今治市の顔としておもてなしの第一歩であると考えます。

防災対策について 30年以内に70%以上の確率で起こると言われている南海トラフの大地震、県の想定では今治市もほぼ全域で震度6の揺れとなり、全壊5,764棟半壊18,249棟と想定されています。毎日地震におびえて暮らす必要はありませんが、日頃からいざというときの避難場所や避難経路の確認、水や毛布などの備蓄は大切です。

今治地区工業用水事業について 今治のタオル産業が元気になってきたとはいえ、染色などの部門によっては大変厳しい状況であることに変わりはありません。使った水を使った分だけ払う体制へ速やかに移行できるよう、引き続き取り組みを続けます。

姉妹都市について 現在今治市は国内外4都市と姉妹都市を結んでいますが、パナマ市とは相手方の窓口もわからず交流がない状況が続いていました。一昨年11月には日本国とパナマ共和国の間で交流に向けて事務レベルの会談が行われました。また質問後、今治市内にパナマ共和国海事庁の出先機関が開設されました。今後も動向を注視していきます。

公園の整備について 今治市には192カ所の公園があります。代替施設の有無や利用率等を勘案し公園の統廃合を進めることも必要ですが、市内の新興住宅地では、各所で子ども達が増えているにもかかわらず遊び場所がない等、問題になっています。徒歩で遊びに行ける公園は、子ども達や保護者の方々にとって親交を深め語り集う場所でもあります。多額の費用や広大な土地が必要な都市公園ではなく、10年、15年といった賃貸形式の「公共的な空き地」としての位置づけであれば土地も経費も必要ありません。常に新しい発想を持ちながら対応していきます。



新規掲載分

住民参加のまちづくりについて 道路の陥没や水路の損壊等、軽微なものに関しては市民が現物支給を受け、自らが修繕を行う取り組みが全国で広がっています。静岡市では学校、地域、PTAが一体となり、子ども達が参加をすることで、日頃何気なく使っている道路に対する愛着心の醸成や予算等の勉強を通じて行政を身近に感じてもらえるという好評のようです。今治市にも是非取り入れていきたい視点です。

公の施設におけるトイレの位置づけについて 先の議会でも質問させていただきましたが、その後の取り組み状況について質問しました。前回質問時、公会堂のトイレ改修はしない旨の答弁がなされましたが、質問後に洗浄機能のついたものへ改修されました。たくさんの方々を訪れる施設については、特に注意しなければなりません。今後も動向を見ながら提言していきます。

小学校と保育所の連携について 少子高齢化の流れの中で子どもが減り、昔のように学年を超えた縦の交流も少なくなってきました。連携を推進することで、学校は子ども達の情報を共有する機会を得ることができ、子ども達にとっても学年を超えた交流は大きな経験となります。今年度より市内の小中学校において、集会や避難訓練、遠足等を一緒に行うなど、保育所と小学校との交流事業が増えてきました。引き続き環境整備に注力します。

子ども医療費助成制度について 中学校卒業までの通院医療費について、全国1741自治体中1000を超える自治体(県内は20市町中13市町)で、補助制度が確立されています。子育て世代は若い方々が多く、突然の出費は家計を圧迫し消費活動停滞につながる恐れもあります。予算的に無料化が難しいのであれば、回数券を発行したり一部負担を求めるなど、実施方法を工夫することは可能です。引き続き助成制度確立に向けて取り組んでいきます。

定例街頭演説 毎週金曜日(AM7:45～市民の森下交差点) 市政報告会 第2水曜日(PM7:00～8:00) *出張等で曜日が変更になることがあります

お*印刷には大豆油インクを使用しております。

すほすて治みがりせが
どがまーな実身ん育最
よ、いのさ現近。た後
ろ今りまんでに私なに
し後まちときなはいなく
とすづーりこ社り
おも、く緒社、れ会ま
願ごまりに会おかにし
い指だをふと約ら未た
申導ま考るな束も来が
しごだえさるし市は、
上鞭若行とよた政あ子
げ捷輩動、うこがりど
まのでし今、とよまも

連前への誰を おの等
絡も資あで第毎持で、ホ
いつ料るも2月ちイよー
たの方参水ののンリム
だメ関は加曜市の方夕詳ペ
け1係是でに政は1しー
れば、ごも非き計報、ネくジ
おざ参すし会、トせは
電い加のて(い。続お々
話ま下でい勉。環りの
等すさおま強 境ま活
ごで。間。をす動

けるもま治磋し員員
れよ、すを琢まのの今
ばう政。見磨し会会年
と、治まつした四会度
考日をためな。国長も
え々身、てが四ブ、引
の近若いら国口全き
活にいけ幅、ツ国続
動感世る広国ク若き
をじ代よいの代手四
充てのう視仲表市国
実の方頑点間を議若
した々張でと拜会手
なけにり今切命議

し印紙
た刷の今
等手回
す配の
べか議
てら会
手原便
作稿り
り作に
で成つ
作、い
成編て
し集も
ま、用



編集後記



